◎ まずは自分が気になることを探してみよう。

みなさんはたくさんの「気になること」を見つけられるはずです。見つけられないのは，身の回りのことを疑いもせずに当たり前にとらえすぎて，今は気づいていないだけです。

まず，自分の気になることをできるだけたくさんあげてみてください。どんなささいなことでもいいですよ。今はあげられなくても，意識のアンテナを広げておけば，ふとしたときに思いつくものです。思いついたら，すぐに書き留めておきましょう。

ヒントになるのは，
「周囲の人との会話」「図書館の本」「通学路や町並み」「博物館・科学館」「地図」
「商業施設・商店・病院・公共交通機関等，人の集まる場所での人の動き」
「身近な自然の観察映像や実験動画」などです。他にもたくさんあると思います。

でも，インターネットで調べたらすぐに答えが出て，絶対に疑いの余地がないと言えるものは，残念ながら探究課題にはならない。気になったら，ネットで調べてみるのも，必要ですね。

インターネットを見ても，本で調べても「疑問が残る，気になること」を発見したら，それは探究課題の種になるかもしれない。ここからは，「疑問の残る，気になること」を絞り込んでいこう。